

1 はじめに

西宇和支部は、小学校6校・中学校3校の計9校で構成されている。中学校3校の普通教室は、黒板がホワイトボードに変わり、電子黒板が導入されている。昨年度、小学校の電子黒板が新しくなり、さらに一人一台のタブレット端末が導入された。このような情報機器の環境のもと、各校で情報活用能力を高めているところである。

2 研究主題

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践
－教育の情報化の推進を通して－

3 教職員研修会

(1) 第1回情報教育委員会

期日 4月14日(金)
会場 伊方町立伊方中学校
参加者 情報教育主任・顧問
内容 役員選出・今年度の研究主題について・研究計画の作成

(2) 第2回情報教育委員会及び研修会

期日 8月22日(火)
会場 伊方町立伊方中学校
参加者 情報教育主任・顧問・研修希望教員
内容 ① 実技研修

「文書作成ソフトウェア (Word)」活用研修
講師 (株)ほうきょう 國廣 達也氏

Wordの基本的な内容から、応用的な機能まで幅広く教えていただいた。特に図形や表の挿入方法やレイアウトの工夫等を詳しく教えていただいた。また、文章を入力する際、縦に文字をきちんとそろわせる方法を教えていただき、多くの方の疑問を解消する一助となった。

② 実践発表

各校が行っているタブレット端末や電子黒板等のICT機器の活用についての実践発表を行った。その後、効果的なICTの活用方法について話し合った。



4 今後の課題

校務をスムーズにこなすために、今回研修した文書作成ソフトウェア (Word) はもちろん、表計算ソフトウェア (Excel) やプレゼンテーションソフトウェア (PowerPoint) の研修を行い、教員一人一人の技能を向上させなければならない。

タブレット端末等の新しいICT機器が、各校へ次々に導入されている。その活用に関する研修を各校で行い、ICTを活用した授業への意識を高める必要がある。日常的に情報教育の視点を取り入れ、実際に活用し、授業実践に生かしていくことがこれからの課題である。